

令和3年度 新杉田地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

杉田地区は海側の工業地、低地の市街地、丘の上に形成された住宅地に大きく区分されます。3つの鉄道駅を中心に昔ながらの商店街や商業施設が集まり賑わいのあるまちですが、丘の上の住宅地等では移動や買物等に課題を感じている人も多く、令和2年10月より買物移動販売が始まっております。また、健民祭等の多世代交流行事、健康づくり活動などが盛んである一方、老人会や子供会の運営継続等に課題もあります。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響は避けられませんが、地域住民が地域で孤立することなく、必要な方に必要な情報を届けられるように、地域の中で人と人が関わり支え合うことの重要性を認識しながら、感染予防を徹底するとともに、地域住民ならびに地域の活動を支える仕組みづくりに取り組んでまいります。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	広報誌等の紙面だけではなく、ホームページや、SNSを活用したタイムリーな情報発信を行うとともに、シニア向けのスマホ教室などの事業を引き続き開催し、コロナ禍による孤立化を予防する。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	介護予防教室及び出前講座毎に、CPが相談支援機関であることの周知啓発と共に、相談対応を行う。また、支援機関を掲載したウォーキングマップを保健活動推進委員等と協働で作成し、自治会や介護予防活動グループ等に配付し、介護予防の普及啓発を図る。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	いそご地域活動ホームいぶき、後見的支援室コネクト・ハート等と共催し、地域の障害当事者の方と民生委員や主任児童委員等との情報共有・交流の機会を企画する。また、地域の障害者理解の啓発のための活動を通して、それぞれの支援機関の役割機能の相互理解、周知、地域住民との関係構築を図る。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	詐欺被害防止に向けポケットティッシュ配布等を媒体とし、ケアマネジャーやサービス事業所、高齢者だけではなく地域住民への啓発を進めていく。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域住民や民生委員に対し、講座や勉強会を通してACPの普及啓発に取り組む。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

【情報発信】
地域情報誌『ぶらむNEWS』とTwitterにて、タイムリーな情報を必要な方に届ける情報発信の強化を行うとともに、自主事業等の申し込みにGoogleフォームを新たに活用しました。またコロナ禍の高齢者の孤立化予防のためにシニア向けのLINE講座を開催し、スマホを利用したコミュニケーションや仲間づくり、居場所づくりを行いました。

【介護予防の普及啓発】
コロナ禍におけるフレイル予防、つながりを意識できるツールとして「杉田de健康ウォーキングマップ」を保健活動推進員と協働して作成し、自治会町内会、保健活動推進員、民生委員、元気づくりステーション、老人クラブ連合会、講座参加者、地域施設などに配付し介護予防の普及啓発を行いました。また、マップに掲載している杉田地区の他の相談支援機関との連携を図るツールとしても活用を行っています。

【障害者理解の啓発】
いそご地域活動ホームいぶき、後見的支援室コネクト・ハート、磯子区社会福祉協議会と連携し、地域の障害当事者の方と、民生委員・主任児童委員との交流会を実施。杉田地区での障害児の子育てや、地域の方の日ごろの見守り、障害のある方の防災訓練への参加について等、様々な話題について話を行いました。その他にも、地域の子育て広場や、会議、イベント等についても積極的に情報交換し、一緒に出席するなど、支援機関同士・地域住民との関係性構築に努めました。

【詐欺被害防止に向けた普及啓発】
地域での講座参加者やケアプラザ窓口での配布の他、杉田台自治会では自治会長に協力いただき、全戸配布を行いました。

【ACPの普及啓発】
磯子区在宅医療連携拠点かけはしと協働し、ケアマネジャー及び民生委員交流会にてACP普及啓発講座を実施。参加型の教材を用いるなど、動機付けが高められるよう内容の工夫を行いました。

区からのコメント

・コロナ禍において地域の方々求める情報を求める形で提供できるよう心掛け、広報誌等工夫して発行していました。第4期地域福祉保健計画策定の過程で高まった地域の方々の「自分たちの街をよくしていこう」という気持ちをどう推進に活かしているか区・区社協とともに模索検討した一年であったように思います。日常的には地域の方々との関係を丁寧に築きながら、各種事業に取り組んでいただきました。引き続き、築いた関係を生かして地域支援を進めていっていただくことを期待しています。

・民間企業等も含めて構築されているエリア内のネットワークを生かして、次年度以降も、認知症支援、介護予防、詐欺被害防止を含めた権利擁護などの取組を、効果的に進められると考えています。ACPの普及啓発については、先駆的に進められている取組を引き続き展開していただき、区域全体の動きも連動して進めていきたいと考えています。